

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

7

男子 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点				総得点	チーム名	
県立境高等学校	19	[10	—	14]	立命館守山高等学校
			9	—	15		
				—			
				—			
				—			
			7mTC				

中国ブロック鳥取・境と近畿ブロック滋賀・立命館守山のともに6回目の出場となる両校の対戦。

境のスローオフで試合開始。シュートカットからの速攻で境が先制、対する守山も⑦番のミドルです。

かさず追いつく。その後はお互いの持ち味を生かした攻撃で競った展開となったが、リバウンドやこ

ぼれ玉を確実に得点につなげ、GKの好セーブもたびたびあった守山が徐々にリードを広げた。そし、

て前半26分、退場者が境にでた状況で守山は③番のカットイン、⑭番のサイドシュートで連続得点し、

前半は4点差で立命館守山がリードして終了。境はシュート力のある③番が前半序盤にミドルを連続

できめたが、そのあと終了間際まで得点がなかったのが痛い。後半に入り、20分までに守山は②番の

カットイン・速攻などで4得点、③番のサイドシュートの2得点などで着実にリードを広げ、9点差

で残り10分となった。終盤、境もあきらめずに果敢に守山ゴールにアタックをかけるが、点差による

ものか攻守に余裕がでた守山がのびのびとゲームを展開し、最終的には29-19の10点差で勝利をも

のにし、明日の3回戦に進出を決めた。

30年3月25日

記載者氏名 潮海克郎

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

8

男子 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Bコート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
大分高等学校	21	7 - 8	14	聖和学園高等学校
		14 - 6		
		-		
		-		
		-		
		7mTC		

2回戦第4試合は昨日1回戦勝ちした九州代表大分高校と本日初戦を迎える5年連続26回目の

東北代表聖和学園の対戦。前半は大分のスローオフ。先取点は聖和の7番が決めた。続いて2番が

決めるも、大分が同点に追いつき、その後序盤は一進一退の攻防が続いた。中盤も競り合いは続き、

両者相手に主導権を譲らない展開が続き終盤を迎えた。残り3分を切って、聖和10番の右サイド

からのシュートが決まり大分がリードを許した。その後両チーム得点を加え7対8で聖和側リード

で前半を終了した。今後の展開が予想し難い流れの中、後半は聖和からのスローオフ。先取したのは

大分。3番が左からのサイドシュートで同点を決めた。序盤は大分の3番が4得点を決めリード

していく中、開始11分で聖和がタイムアウト。その後中盤は、大分が小刻みに加点し、開始17分

で退場者が出るもののリードを徐々に広げていった。終盤に入り、聖和が流れを変えるべく、再度

タイムアウトをとるが、大分は3番の連取と17番の追加得点で、大分が聖和に主導権を与えずに、

堅守速攻のチーム力で21対14で昨日に続き連勝し、3回戦進出を果たした。

2018年3月25日

記載者氏名 沖谷 晃一郎

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦評用紙

女15

男子・女子 2回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 加古川市立総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
明星高等学校	<u>23</u>	[12 — 12 11 — 9 — — — 7mTC	県立小林秀峰高等学校
]	<u>21</u>	

大会2日目第4試合は初出場校同士の対戦となった。前半10分ごろまでは互角の展開が続

いたが小林秀峰は明星4番安部の7メートルスローを1番大村がセーブしたのをきっかけに

1-2-3-DFからの速攻、11番谷口のサイドシュートなどで4連続得点に成功し、点差を

5点とする。このまま波に乗りたい小林秀峰であったが、明星1番佐藤のナイスセーブからの速

攻、14番橋爪のポストプレーなどで5連続得点をあげスコアを同点とされる。小林秀峰1点リ

ードで迎えた前半残り10秒、明星7番野口のシュートが決まり12対12で前半を折り返す。

迎えた後半、前半の勢いそのままの明星は3番新里が3連続得点をあげ逆転に成功する。

追う小林秀峰は8番川嶋の鋭い1対1からの得点、GK大村のセーブなどでじりじりと点差を詰

め後半20分点差を1点とする。その後も一進一退の攻防が続き1点差で迎えた後半29分

明星4番安部のサイドシュートが決まり勝負あり。1点を争う初出場校同士の好ゲームを、大応

援を味方につけた明星が制した。

30年 3月 25 日

記載者氏名 中村 健斗

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

14

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立江津	25	9	17	大分
		16	18	
		7mTC		

この試合がともに初戦となる、中国ブロック2位の県立江津高校と九州ブロックを征した大分高校との一戦。江津のスローオフで試合開始。江津の攻撃を守り抜いた大分は、1分9秒に㊟浜田のシュートで幸先良く先制すると、そこから4連続得点。対する江津は、8分33秒に㊟井上のシュートで反撃するが、なかなかペースを掴めない。11分33秒、江津がTO。再開直後に1点を返し2点差に迫るが、ここで㊟島田が警告で、大分は7メートルスローを得る。これを㊟浜田がしっかり決め、そこから5連続得点とし、江津を突き放す。DFの粗さが目立った江津に大分は容赦なく攻め込み、17対9と大きくリードして前半を終える。後半は1分43秒に江津が先制。大分も2分09秒にすかさず反撃。その後は一進一退の攻防が続く。江津はGKが好セーブを連発し、流れを引き寄せようとするが、大分もなかなか譲らず、㊟岡の1対1や、㊟佐野の高さのあるシュートなどで、激しい攻撃を連発する。終盤に粘りを見せた江津だが、前半のビハインドが響く形となり、終始、主導権を握り続けた大分が3回戦に駒を進めた。

30年 3月 25日

記載者氏名 石田 聡